

新・マスタープラン評価結果一覧表

事業評価の概要												
1次評価					2次評価							
効率性評価 有効性評価	A 非常に高い	B 高い	C 普通	D 低い	E 非常に低い	方向性評価	拡充	維持	終了 (完了)	改善 ・ 見直し	縮小	
							今まで以上に 力を入れて事 業に取り組む ことが適当	今までどおり 事業に取り組 むことが適当	事業・取り組 みは終了した	事業内容の改 善や見直しを 検討し取り組 むことが適当	事業の取組み 規模を縮小さ せることが適当	
施策	事業・取り組み				1次評価		2次評価					
					効率性	有効性	方向性	経営審議会総評				
I 水質管理の充実・強化	I-1	水源水質の監視			C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				
	I-2	水安全計画の充実・適切な運用			C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				
	I-3	水質管理体制の強化			C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				
	I-4	新潟市独自の管理目標による水質管理			B	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				
	I-5	分かりやすい水質情報の提供			B	A	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。今後、どれだけ市民の皆様との理解を得ることができたか、成果を期待したい。また、浸透度や理解度についての評価手法等を検討すること。				
II 給水装置における水質保持	II-1	学校施設の水飲み水栓の直結給水化			C	C	維持	水道局自体の努力だけでは難しいことは理解できるが、学校施設の直結給水化は、新潟の水を市民に届け、当たり前に使ってもらうためにも、引き続き、計画に沿った事業推進のため努力してもらいたい。				
	II-2	貯水槽清掃率向上に向けた新たな啓発活動の検討・実施			C	B	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				
	II-3	指定給水装置工事事業者の技術力向上			C	C	維持	表彰制度は業者の方々にとって励みになる良い制度であることから、引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				
III 水道施設の計画的更新	III-1	浄配水施設の計画的更新			C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				
	III-2	管路施設の計画的更新			D	C	改善見直し	管路の計画的更新は、耐震化や有収率向上対策につながる事業でもある。工事単価の上昇および市街地工事による事業費の増加により、管路事業全体の予算配分を見直し、配水管更新の事業費の一部を、基幹管路更新へ充当したことは、限られた財源の中でやむを得ないと思われる。厳しい財政事情の中ではあるが、より効率性を追求し早期更新が可能となるよう努めること。				
	III-3	鉛給水管の計画的更新			B	A	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				
IV 震災対策・体制の強化	IV-1	浄配水施設の計画的耐震化			C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				
	IV-2	管路施設の計画的耐震化			D	C	改善見直し	大規模地震発生に備え、耐震化の推進に努めること。工事単価の上昇および市街地工事による事業費の増加により、管路事業全体の予算配分を見直し、配水管更新の事業費の一部を、基幹管路更新へ充当したことは、限られた財源の中でやむを得ないと思われる。厳しい財政事情の中ではあるが、より効率性を追求し早期更新が可能となるよう努めること。				
	IV-3	重要施設向け配水管の耐震化			B	A	維持	重要施設向け配水管の耐震化は、震災時のことを考えると重要な事業である。引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				
	IV-4	配水管網のブロック化の推進			C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				
	IV-5	大ブロック間の相互連絡管の整備			A	A	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				
	IV-6	事故・災害時における復旧体制の強化			B	C	維持	他事業体や民間企業との災害時応援協定を積極的に締結している。また、今年度も応急給水訓練を定期的実施している。市民にとって災害に備えた水道局の姿勢が見え安心材料となる。引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				
V 経営基盤の強化	V-1	アセットマネジメントによる適正な資産管理			C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				
	V-2	定員・給与の適正化			C	B	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。今後も委託に伴い職員数の減少が見込まれるが、危機管理の面から適正な定数にも留意すること。				
	V-3	業務効率化に向けた民間委託の検討・実施			C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				
	V-4	遊休資産の有効活用			C	E	改善見直し	遊休資産の有効活用は、経営基盤の強化を図るために有効な事業である。今まで以上に売却も含めた施設の有効活用実施に向けた検討を進め、新たな収入源確保に努めること。				
	V-5	時代に即した料金制度等の検討・実施			C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				
	V-6	水道事業経営審議会の効果的運用			C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				
VI 積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	VI-1	戦略的な広報の実施			C	B	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。また、有効性評価欄へ市民からの意見、モニターの意見等判断の根拠を記載すること。				
	VI-2	お客さまの意見・要望の把握			B	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				
	VI-3	分かりやすい経営情報の開示			B	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				
	VI-4	放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理と情報提供			B	C	維持	放射性物質を含む浄水汚泥の情報は、市民の関心も高いと思われる。引き続き、適正な管理と情報提供を実施すること。				
VII 技術・知識を有する人材の確保と育成	VII-1	人材育成と専門性の強化			B	B	維持	水道技術の継承が問題化する中、技術職の独自採用や民間企業経験者の採用と人材確保への努力は有効である。引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				
	VII-2	諸外国との水道技術研究交流			C	B	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				
VIII 環境に配慮した事業運営	VIII-1	建設副産物の再利用促進			C	B	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				
	VIII-2	水道局環境計画の策定と推進			C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				